

# 第3回資料

平成20年2月22日

## 1. 資源ごみについて

平成19年11月に吉川市が独自で行ったアンケートにおいて資源ごみを有料化している自治体は、6自治体。収集品目については、下記のとおり。

自治体名	料金	収集品目
津島市	可燃・不燃ごみと同額	ペットボトル、その他プラ
銚子市	45リットル：10円 (可燃：30円)	かん、びん、ペットボトル、その他プラ
清瀬市	可燃ごみと同額	その他プラ
青梅市	可燃ごみと同額	その他プラ
昭島市	可燃ごみと同額	その他プラ
東村山市	40リットル：30円 (可燃：72円)	その他プラ

○資源ごみを有料化している団体の収集量の推移（1人1日あたりの排出量）

（単位：g/1人/1日）

市町村名	収集品目	導入前年	導入年	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
津島市	かん	7	10	8	7	7	6	
	びん	24	23	22	21	21	19	
	古紙類	82	92	93	92	88	85	
	ペットボトル	4	4	5	6	7	5	
	その他プラ	50	66	69	69	68	37	
	合計	167	195	197	195	191	152	
銚子市	かん	18	18	16	15			
	びん	28	26	23	24			
	古紙類	55	84	102	108			
	ペットボトル	9	9	10	11			
	その他プラ		16	17	19			
	合計	110	153	168	177			
清瀬市	かん	12.8	11.0	11.0	10.1	9.2	9.2	8.7
	びん	27.9	25.2	22.0	21.8	21.9	21.6	22.6
	古紙類	87.5	98.2	89.9	83.3	63.0	88.7	87.0
	ペットボトル	6.7	7.2	7.3	7.7	8.0	8.2	8.3
	その他プラ							35.5
	合計	128.2	141.6	130.2	122.9	102.1	127.7	162.1
青梅市	かん	8	8	9	9	9	8	8
	びん	12	16	19	18	18	17	17
	ペットボトル	1	2	4	4	5	5	5
	その他プラ	-	-	-	-	-	-	-
	合計	21	26	32	31	32	30	30
昭島市	その他(※1)	151	158	151	157	160	159	
	その他プラ	35	38	43	44	47	51	
	合計	186	196	194	201	207	210	
東村山市	かん	14	18	12	14	15	15	
	びん	25	21	27	26	26	26	
	古紙類	78	87	91	89	90	89	
	ペットボトル	5	5	6	7	7	7	
	その他プラ	-	-	-	-	-	11	
	合計	122	131	136	136	138	148	

※1：その他はかん、びん、古紙類、ペットボトルの合算量

※2：  は有料化している品目

○資源ごみを有料化していない団体の収集量の推移（1人1日あたりの排出量）

（単位：g/1人/1日）

市町村名	導入前年	導入年	1年後	2年後	3年後	4年後	5年後
南アルプス市		92.0	108.0	116.0	113.0	116.0	120.0
北茨城市	103.1	53.9	47.1	100.5			
館山市	143.0	187.0	201.0	183.0	179.0	179.0	
蓮田市		13.1	13.2	12.4	11.3	10.7	9.6
鴨川市	163.0	176.0	160.0	154.0			
福生市	189.0	204.3	196.0	203.8	193.8	206.7	
羽村市	230.4	243.2	238.8	245.5	238.2	234.4	
登別市		57.7	52.6	51.9	51.4	49.7	51.2
武蔵野市	164.5	224.4	224.4	220.9			
調布市	71.7	106.3	109.4	32.9			
日野市	60.4	128.2	193.0	195.2	193.6	185.8	185.9
帯広市	144.0	143.0	135.0	133.0			
秩父市	53.6	78.0	85.2	90.2	95.8	126.2	133.6
千曲市	92.4	175.4	199.3	210.3	199.4	193.2	194.7

## 2. 手数料の料金水準について

ごみ処理手数料は、その額によりごみ減量効果に違いが出てくることが考えられる。  
平成19年11月に行ったアンケート結果は次のとおり。

○料金水準の決定根拠（複数回答可）

項目	自治体名
ごみの収集・処理などに要する総費用の一定割合	袖ヶ浦市（16円）、南アルプス市（17.8円）、日立市（26.7円）、銚子市（26.7円）、清瀬市（40円）、鴨川市（44.4円）、青梅市（48円）、秩父市（57.1円）、昭島市（60円）、福生市（60円）、稲城市（60円）、羽村市（60円）、東村山市（72円）、登別市（80円）、帯広市（120円）、君津市（180円）
近隣自治体の手数料に見合う水準	津島市（20円）、日立市（26.7円）、銚子市（26.7円）、鴨川市（44.4円）、秩父市（57.1円）、昭島市（60円）、福生市（60円）、稲城市（60円）、羽村市（60円）、東村山市（72円）、帯広市（120円）
市民の受容性を重視	津島市（20円）、館山市（26.7円）、鴨川市（44.4円）、秩父市（57.1円）、稲城市（60円）
負担感のある額として月額500円を想定	武蔵野市（80円）、日野市（80円）

※比較検討するため、全団体40リットルに換算して表示。

○可燃ごみの料金ごとのごみの推移

図4-1

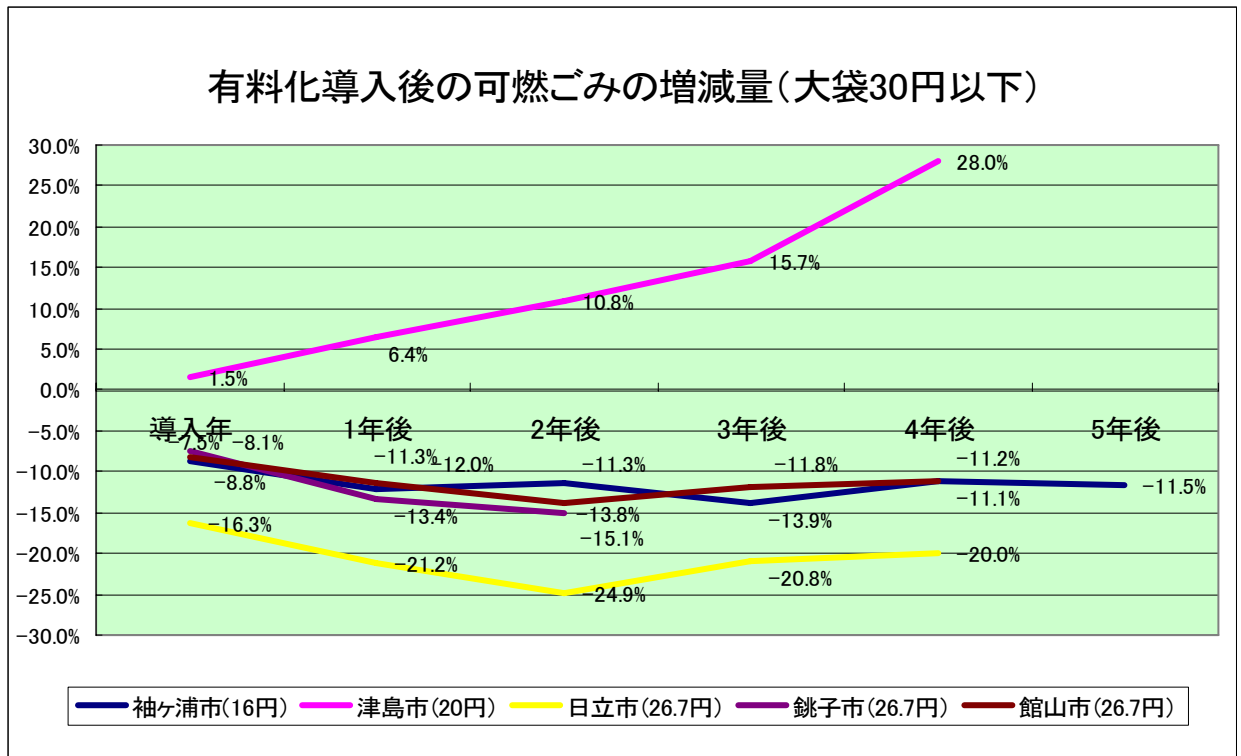


図4-2

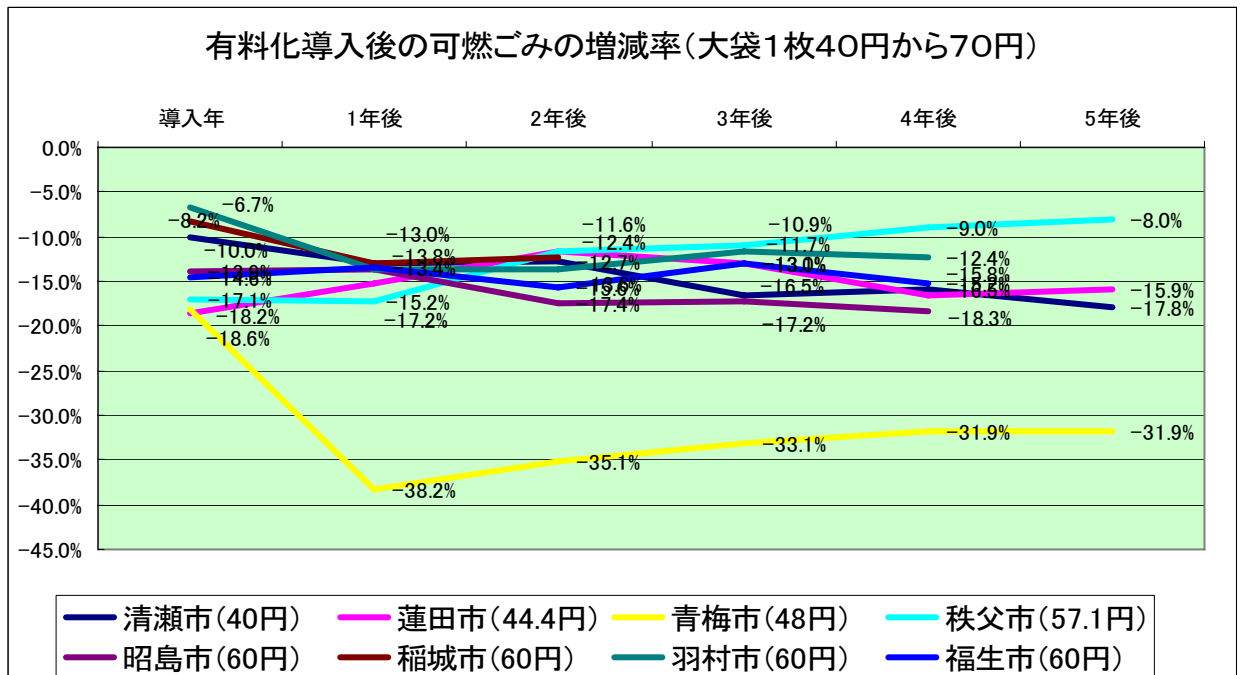
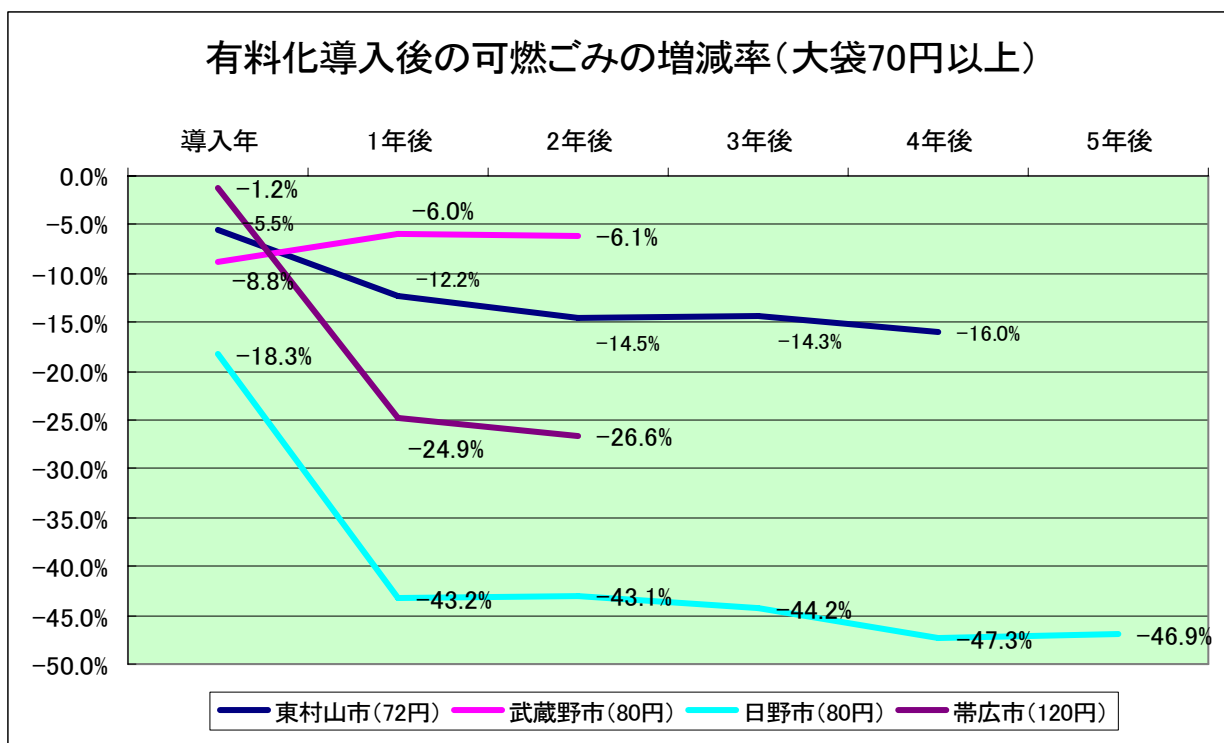


図4-3



※比較検討するため、全団体40リットルに換算して表示。

**【可燃ごみの増減率から読取れる傾向】**

- ・ 有料化することによって、ほとんどの市においてごみの減量効果は出ている。
- ・ 料金が高いほど、減量効果が出ている共に持続性が高い。
- ・ 同一料金であっても大きな減量効果を得られている自治体については、有料化と併せて複合的な施策を実施していると思われる。

図 4 - 4

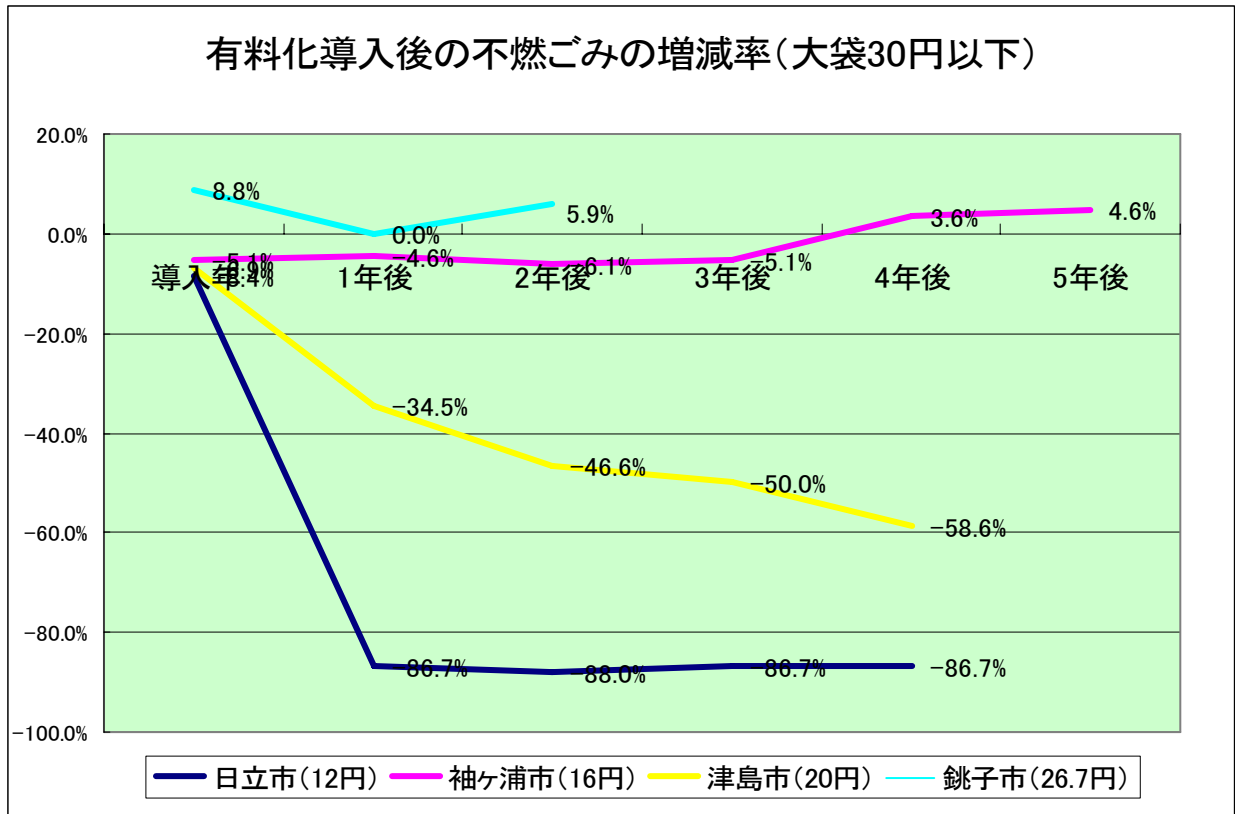


図 4 - 5

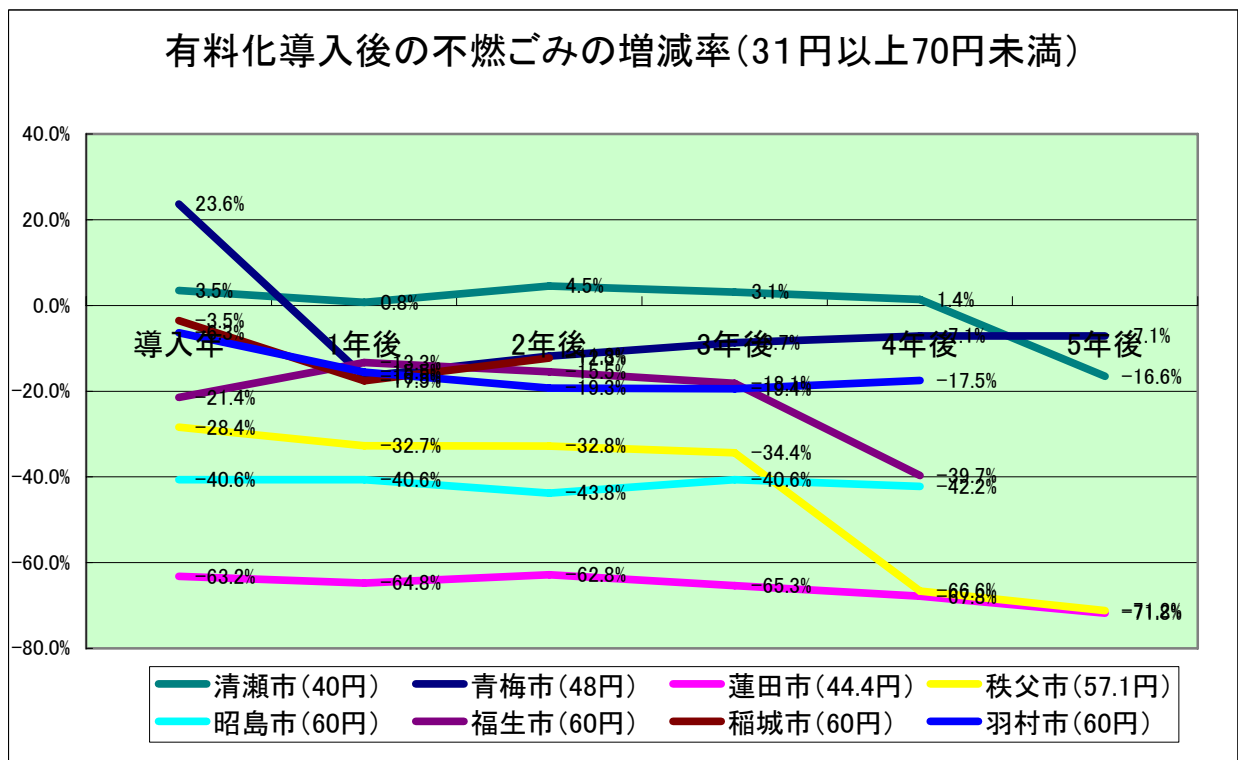
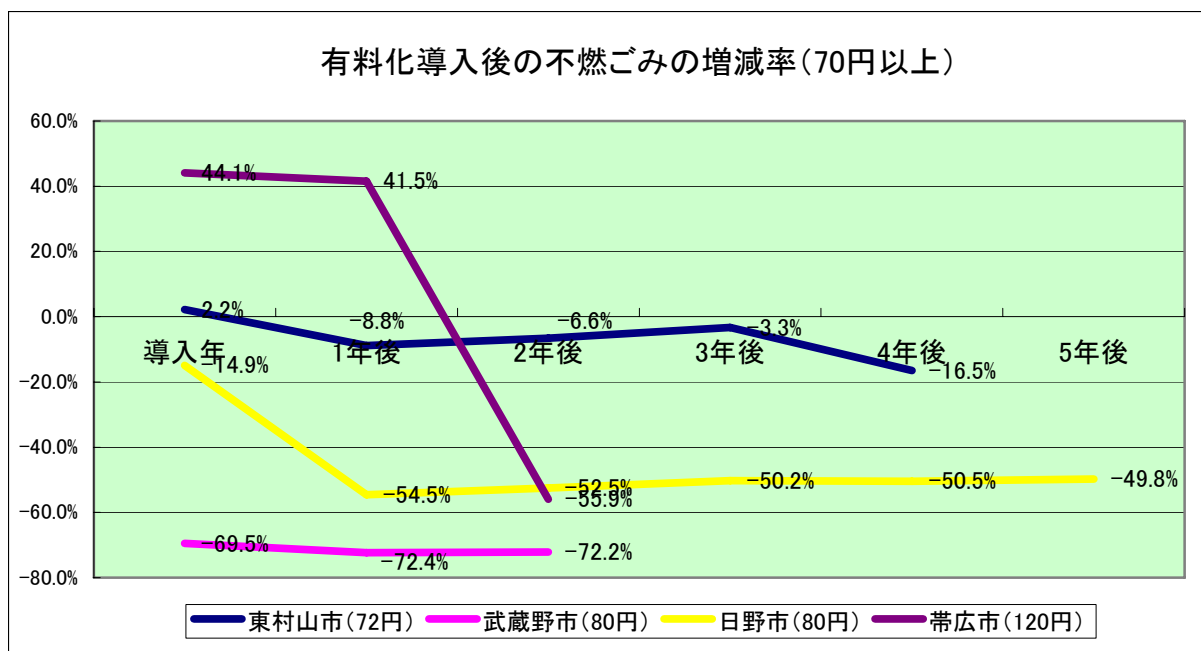




図4-6



※比較検討するため、全団体40リットルに換算して表示。

**【不燃ごみの増減率から読取れる傾向】**

- ・ 有料化することによって、ほとんどの市においてごみの減量効果は出ている。
- ・ 不燃物については、どの料金段階においても、減量効果とその持続性が高いが30円以下では、リバウンドしている自治体もあった。

#### 4. 減免措置について

家庭ごみの有料化は、新たな経済的負担を伴う仕組みであることから、その実施に当たっては、低所得者などに対し、経済的負担の軽減を考慮し、手数料の減免措置を検討する必要があると思われる。

減免内容	市町村数
天災火事	17 団体
生活保護	11 団体
身体障がい者	5 団体
児童扶養手当	9 団体
高齢者介護	1 団体
紙おむつ（乳幼児）	7 団体
紙おむつ（高齢者）	7 団体
剪定枝	4 団体
ボランティア	22 団体

#### 【その他として】

- ・身障者世帯のうち住民税非課税世帯、60歳以上の方のみの世帯
- ・特別児童扶養手当、身体障害者手帳（2級以上）、愛の手帳（2度以上）、精神障害者保健福祉手帳（1級）のいずれかを持っている人がいる家庭で、前年度の市民税が非課税の世帯
- ・特別児童扶養手当、遺族基礎年金受給者、老齢福祉年金受給者、愛の手帳世帯（非課税世帯）、精神障がい者世帯（非課税世帯）
- ・身障者（1級、2級）、市民税非課税世帯、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、老齢福祉年金受給者
- ・特別児童扶養手当、老齢福祉年金受給世帯、母子福祉年金、準母子福祉年金受給世帯

～紙は貴重な資源です！！不要となった際は“雑がみ”としてリサイクルしましょう～